

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

第2類医薬品

漢方製剤

けい し ぶく りょう がん
桂枝茯苓丸錠SH

「桂枝茯苓丸」は漢方の原典とされる中国の医書『金匱要略』に収載されており、古来より多くの女性に用いられてきた漢方薬です。のぼせや手足の冷えを伴う月経の痛み、肩こり、打ち身、しみ、更年期障害などに用いられます。

「桂枝茯苓丸錠SH」は、5種類の生薬から抽出した「桂枝茯苓丸」エキスを服用しやすい錠剤にしました。



使用上の注意



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
- (1) 医師の治療を受けている人
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - (3) 体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)
 - (4) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	食欲不振

まれに下記の重篤な症状が起こることがある

その場合は直ちに医師の診療を受けること

症状の名称	症 状
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

- 下痢

4. 1ヵ月位服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

〈効能・効果〉

比較的体力があり、ときに下腹部痛、肩こり、頭重、めまい、のぼせて足冷えなどを訴えるものの次の諸症:

月経不順、月経異常、月経痛、更年期障害、血の道症^{注)}、肩こり、めまい、頭重、打ち身(打撲症)、しもやけ、しみ、湿疹・皮膚炎、にきび

注)「血の道症」とは、月経、妊娠、出産、産後、更年期など女性のホルモンの変動に伴って現れる精神不安やいらだちなどの精神神経症状および身体症状のことです。

〈裏面もお読みください〉

〈用法・用量〉

次の量を1日3回食前又は食間に、水又は白湯にて服用してください。(食間とは、食後2～3時間を指します。)

年 齢	1 回量	1 日服用回数
成人(15才以上)	3錠	3回
5才以上15才未満	2錠	
5才未満	服用しないこと	

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 用法・用量を厳守してください。
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

〈成分・分量〉

成人1日量9錠中に下記の生薬より得た桂枝茯苓丸エキス(1/2量)1,150mgを含みます。

ケイヒ……………2.0 g	トウニン……………2.0 g
ブクリョウ……………2.0 g	シャクヤク……………2.0 g
ボタンビ……………2.0 g	

添加物：クロスカルメロースNa、トウモロコシデンブン、タルク、軽質無水ケイ酸、ステアリン酸Mg、結晶セルロース

保管及び取り扱い上の注意

- 1. 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- 2. 小児の手の届かない所に保管してください。
- 3. 他の容器に入れ替えないでください。
(誤用の原因になったり、品質が変わることがあります。)
- 4. 本剤は湿気を吸いやすいので、服用のつど必ずフタをかたくしめてください。
- 5. ビンの上部の詰めものは、錠剤が壊れるのを防ぐためにいれてありますので、フタを開けた後は取り除いてください。
- 6. 本剤にぬれた手で触れないでください。又、手にとった錠剤を元の容器に戻しますと、他の錠剤に影響を与えることがありますのでご注意ください。
- 7. 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

■本製品内容についてのお問い合わせ先

新日本製薬株式会社 おくすり相談室
電 話：☎0120-419-111
受付時間：9時～18時(日、祝日を除く)

発 売 元 新日本製薬株式会社
福岡市中央区大手門1-4-7

製造販売元 株式会社 新日本医薬
福岡市博多区吉塚8-7-11

副作用被害救済制度のお問い合わせ先 電話：0120-149-931